

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	3	事務事業名	美術館維持管理事業・運営事業・企画展事業	担当課	文化課
評価結果	田川市要改善		市の対応方針	改善	
外部評価 (事業仕分け)時の意見、要望など	<p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と成果の中で、青少年は別カウントするとか、授業で来た小学生を別カウントする等が必要 ・どの業務を誰がやるかという「業務の整理」をしなければ、正規を雇ったら嘱託を減らせとなる。事務を集中管理する、受付をNPOや市民等に委託する等の検討、整理が必要 ・企画展と貸館のバランスが必要。貸館中心とするならば、学芸員を一生雇用するにも費用がかかる ・市民のための美術館とするならば、「市民ギャラリー」にするといった費用をかけない工夫も必要。正規学芸員を雇用した後は出前授業を何10回やるとかいう目標を立てなければ人は増えない。建てた以上は活用してほしいが、市民に足を運んでという説明もできていない。経営的視点も含めて市民に説明してほしい。そうしなければ、閉鎖しろという話になっていくかもしれない ・来場者の実態調査や意識調査は行っているか。実態を的確に把握する取り組みは評価するうえで必要 ・目標がもう少しあればよいかと。そして現状がこうだからそこを攻めていくという指標が必要 ・理念が先行し過ぎて実が付いてこなければ意味がない。美術館に行ったことがある市民が何人いるか、そういう指標が必要 				
	<p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市美術館としての目標設定を改めて行うべき(青少年に特化し目標を定めるなど)、そうすれば、新たな事業展開や成果指標が見えてくるはず ・将来必要経費を含めてあり方を検討しないと、箱の維持管理をカットするなどのつまらない手法でしのぐことになる ・指定管理者等、文化全体の施策のあり方を検討すべきではないのか→職員を1名雇用するという事は、指定管理者制度の検討が行われたのか？または、貸館に徹することも選択できなかったのか？ ・経営的視点をより強化することが必要。利用者増に向けた取り組みを。 ・自分達(チーム)の経営方法(計画)をもっと入れて欲しい！ ・目標、計画、見通し、もっと考察を！学と文化は地方の中心となるのもっと具体的に！ちょっと見えてこないなあ・・・。 ・町のメリットは？中村美術館ができたので市の美術館は要らない。 				
行政改革 推進本部 決定内容	<p>【事業の手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が美術館に何を求めているのか、市民の意識調査を行うべき。 ・山本作兵衛氏の炭坑記録画が日本初の世界記憶遺産に登録されたことにより、管理運営に関する専門的なノウハウが今後更に求められることとなった。指定管理者制度の導入を再検討すべき。 ・山本作兵衛氏のコレクション展示に係る美術館の効率的な活用方法について、「山本作兵衛氏の炭坑記録画並びに記憶文書の保存・活用等委員会」の検討結果を踏まえた上で、検討を行う。 				
	<p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌年度予算には反映しない。 <p>【その他】</p>				